

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、あけましておめでとうございます。かわら版も十年目に入りまして。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。干支(えと)は十干(じっかん)十二支(じゅうにし)で構成されており、今年の干支(えと)は辛卯(かのとう)です。十干は甲乙丙丁戊己庚辛壬の十種類、十二支は子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥の十二種類。したがって、最初の干支は「甲」と「子」の組み合わせの「甲子」、二番目はひとつずつ進んで「乙」と「丑」の「乙丑」、十一番目は十干が最初に戻って「甲」と「戌」の「甲戌」、十二番目は「乙亥」、十三番目は「丙」と十二支が最初に戻って「子」の「丙子」となります。十二支がひと回りする

間に十干との組み合わせがふたつずれるので、ひと回りするのは「十」と「十二」の最小公倍数の「六十」。つまり六十年でひと回り。だから六十歳のことを還暦(暦が還る)と言います。ちなみに、最初の組み合わせの「甲子」の年にできた野球場が「甲子園」と命名されたように、干支は様々なところに引用されています。さて、暦(こよみ)は過去の歴史や漢字の含意から、干支(年)ごとの傾向を啓示しています。一昨年の己丑(つちのとうし)は「新しい秩序が始まる」、昨年の庚寅(かのえとら)は「これまでのやり方が限界を迎え、草木が姿形を変えていく」、そして今年の辛卯は「新しい芽が出ようとする」

となっていました。日本の政治経済や世相に対して、何とも含蓄のある啓示です。日本経済新聞の元旦の一面の見出しは「先例なき時代に立つ」、副題は「三度目の奇跡」。つまり、明治維新後の近代化、敗戦後の経済復興に続き、日本を巡る内外環境が激変する中、日本は「三度目の奇跡」を起こせるかというメッセージです。政権交代は「三度目の奇跡」に向けたスタートに過ぎません。今年は「三度目の奇跡」に向けて、政権交代の成果が徐々に現れ、「新しい芽が出ようとする」年にしなければなりません。僕は亥年生まれですが、卯(ウサギ)に負けないように、日本の飛躍に向けて頑張ります。



かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭ヶ丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元覚王山に事務所を開き、故郷覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ9年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

鳩山内閣、第1次菅内閣で内閣府副大臣を務める。2011年1月、菅改造内閣の厚生労働副大臣に就任。

「新春交礼会」のご案内

日時 平成23年2月27日(日)

開会 12:00 (受付開始11:30)

場所 ルブラ王山 (2階 飛翔の間)

名古屋市千種区覚王山通8-18 TEL. 052(762)3151

●地下鉄東山線池下駅下車2番出口から徒歩3分

会費 5,000円 (当日受付にて承ります)

お申込み・お問い合わせは 参議院議員 大塚耕平事務所

TEL 052 **757 1955** 担当: あさい

